



会員名簿の再改訂に着手

―六〇年秋に発行予定―



発行
岐阜県立関高等学校
同窓会会長河合定彦
印刷所
ムトウプリント

前回五十五年三月末に会員名簿の大改訂が行われてから早くも四年目が終り、五年目毎の改訂計画に基づいて、去る一月に名簿作成業者と同窓会事務局との間で契約が行われました。その結果、次のように新名簿が発行される運びとなりました。一、名簿完成は昭和60年11月30日二、頒価、送料共一冊三千七百円三、特長としては、索引欄が更に充実し、旧姓でも新姓でも引けるようになることとで、一層利用しやすくなる。という事で、まもなく同窓生の皆さんのお手元へ名簿作成カードが届くことと思います。カードが届きましたら折り返し御返送下さい。なお特に住所欄は見易い文字（諧書）ではつきりとお書き下さい。前回判読不能なものも多く、大変困惑しましたので、よろしく御協力を重

58年度 卒業生から 放送機器等寄贈

昭和五十八年度卒業生は三月一日めでたく卒業式を終え新しい社会へと巣立っていき、在校生諸君のために、放送機器のプログラムコントローラー及びカセットデッキそれに学校の行事に使用するテント二張りが贈られた。

58年度

卒業生から

放送機器等寄贈

同窓会員

新たに三三一名

本校の卒業生は高女計二九六九名、高校計一〇一九九名の合計一三一六八名であったが、五十八年度卒業生三二一名（男一六〇名、女一五一名）が加わることで、総計一三四七九名を数えることとなった。新しい会員を迎えて関高同窓会のますますの発展を祈念するものである。

ねてお願い申し上げます。また前回同様、同窓生の方々のからの広告の御協力もよろしくお願い申し上げます。

関高校ブラスバンド部

第14回定期演奏会

3月25日(日) PM2:00
関市文化会館大ホール
¥100 (入場料)

関高校コーラス部

第19回定期演奏会

3月24日(土) PM6:30
関市文化会館大ホール
¥200 (一般)
¥100 (高校生以下)

第八回
全国高校文化祭
出場決定!!

放送の機器は時報のみでなく部活動の終了時刻、生徒帰宅時間を美しい音楽で流すことになり、末長く親しまれることとなると思われ。またテントは体育祭の行事等に大いに利用されるだろう。

下呂で一泊、語り明した同窓会

―高女第八回卒クラス会の報告―



高女第八回卒 平田絢子

私共高女八回生も齢を重ねてまいりました。お互の懐かしさが年毎につのって、いつの間にか、ここ数年は毎年同窓会を開く様になって来ております。しかしいつも日帰りの集いでしたが、本年は「一度泊りがけで語り明かしたいもの」との皆の希望により、去る十月三日に下呂老人福祉センター利用の一泊同窓会を行いました。

参加者21名。今年はご自身からだの調子のよくない人、又御主人がご病気の方が昨年に比べ倍増した感じで、やはり年かなと一抹の淋しさを感じます。しかしお目が悪くて今まで一度も出られなかった久郷幸枝様や、お身体がよくない上野たま様もふるって参加下さったので皆大喜びでした。特に久郷様は親友加藤百枝様の献身的なお世話により参加の実現を見たわけです。御主人を亡くされ、殆ど全盲の久郷様もお琴の先生をなさって

翌日は宿舎から初秋の山路を

散策しながら、爬虫類の森など見学し、竹原文楽の妙技を観賞したあと、福祉センターのバスの運転手の好意で下呂駅まで送っていただきました。足の悪い方もおりましたので本場に助かりました。駅前で昼食を取り解散の予定でしたが名古屋岐阜方面の方々、近江長濱の北岡恒子

様など別れがたく、丁度名古屋行急行が来たにもかかわらずそれに乗らないで、結局鈍行で太田駅までおしゃべりの続きに花を咲かせてまいりまして、や々と太田駅で、又来年の再会を約して名残を惜しみながら、お別れ致しました。担任の先生方も既に亡くなられたり、すぐく御高令であられたり、御臨席いただけなくなつて来たのは残念ですが、齢七十歳に今に手の届こうとする私達高女八回生も、此の一刻はすつかり昔の学生に返って、命を洗濯し明日への活力を身につけて、若々しく興奮しながら散会したことでした。

ようこそ！

ジュニアさん

―オーストラリアから―

初の交換学生

今年二月初めから関高校としては初めての外国人交換学生が向う一年間留学することになりました。

ロータリークラブの交換学生として来日したのは、ジュリエ



ッ・デメインさん17歳。オーストラリアのクイーンズランド州ブリスベイン市の出身。市の郊外にある人口二万五千の小さな海辺の町に住んでいます。とりあえず一年七組に在籍していますが、日本語はほとんど

わからないため、職員室にも席を設けて、英語科の先生をはじめ色々な先生から日本語の勉強をはじめています。身長一六八センチと長身ですが、とてもチャイミングな彼女は来校したその日からすぐ生徒達の人気者になっています。今冬の異常な寒さに、真夏のオーストラリアから来たばかりの彼女は少し風邪気味になったりしていますが、いつも笑顔を絶やさずがんばっています。四月からは多分一年生に正式

母校短信

▼きょうは卒業式。三ヶ年間皆勤による表彰者がなんと36名も。よき伝統にしてほしい。

▼この四月から新二年生が文系コース、理系コースの二コース制となる。90%が進学する現状の中で、少しでも早くから進路を真剣に考えさせようという刺激策。

▼この冬は例年になく寒波で二月初めは連日の雪模様。中庭広場には生徒が十人位入るほどのカマクラが出現。めつたに出来ない事で生徒には大人気。たまにはいいじゃないですか。ヒット、ヒット！

▼一方昨年の秋は雨にたたられて、体育大会は延期につぐ延期、修学旅行も一ヶ月遅れてようやく実施。ま、想い出にはなるかも。

▼このところ職員室はベビーブーム。暮れから今年の春までに六、七人はおめでたのようす。まだあとに続く人も？

▼国公立大二次試験直前。健闘を祈るや切。結果は次号に。

現姓
菊池(山岸)松子先生

(在任 昭和18年～20年)
戦時中ほんの二年たらず、新任の国語教師として武儀高女にお世話になりました私ですのにお声をかけていたゞき深謝いたします。

飛行機や風船爆弾、新日本刀の工場、そして山の斜面の甘藷作りなど、学徒動員で働く日々が多かったのですが、それだけに思い出しても涙の湧くような切実な日々でした。

美しい山河と人情の暖かき、よき伝統に育まれた優秀でかわいいい生徒の皆様、なつかしい同僚の先生方、公仕のおじいさん寄宿舎、すべて忘れ得ぬ美濃・関でございました。

歩くことの好きだった私は日曜日にはよく歩きまわっておりました。安桜山の山越えにひろった栗の実、早春にはうすくれないに咲く梅やみどりつばく咲くのなどたずねて歩いたものでした。

時々同窓会にお招きいたゞき二年前は小瀬の長良川畔で鮎をいたゞき鵜飼をたのしみました。教師冥利でございます。

郷里群馬で三十年余の教職の

のち、二人の子供も独立しまして夫と二人、上州高崎の城址のお濠近くで元気にすごしております。

末筆ですが、関高校の御発展、同窓生の皆様の御多幸をお祈り申し上げます。

(群馬県高崎市下横町四)

林 安行先生

(在任 昭和50年～55年)

今年の正月二日間にわたり、関高のクラス同窓会が催され、懐かしい思い出で出席致しました。

一つは五十四年度卒業生三の七のクラス会、もう一つは五十五年度、私が二年生(二の三)担任として受け持った時のクラス会です。前者は、関高時代、最も印象深いクラスでありました。しかし後者は、私が関高を離れた岐山高校へ転任する最後の学年でもあり、教え子の卒業の晴れ姿を見えま、離れて以来初めての同窓会で、感慨もひとしおでありました。

教え子一人一人の近況を尋ねては、肩を抱き合い、涙を流し合うといった感動的な場面もありました。また、五十二年度の卒業生のクラス会も時折行われ

出席させていただいておりますが、やはり、関の学舎を巣立って行った方々が、それぞれの道で、立派に活躍しておられる姿を見る度に、本当に関高で教鞭をとれたことが、教師みよりりに尽きるといっても過言ではありません。

岐山高校へ転任してもう三年経過しましたが、桜の花香る桜ヶ丘の学舎を我が心のノスタルジアとしていつまでも忘れることがないでしょう。

(各務原市那加桐野町一丁目 一二一番地)

加藤咨郎先生

(在任 昭和29年～36年)

同窓会長さんから思い出話・近況の何かをと一葉の葉書をいただきました。先輩諸先生から関高草創時代の御苦勞話をお聞きした七年の在任でした。六十名近いマンモスクラスへでかけ英語・社会・商業など複教科を担当して夢中だったこと、小テストを絶えず課さねばならぬ

語学教師の宿命も我が身の若さと生徒諸君のバイタリテイに支えられたからこそと思うことで、中国に留学四年、就職も大

陸従軍、敗戦と人生を大迂回して四十才近くになつての教職スタートでした。

今は退職、半ば浪々の身ですが十一年目になるジョギングや一日三百キロ位のドライブにも堪え、ドック入りでオールAに近いお墨付をいただけたのも、在任中諸種のかかずらいから比較的自由にさせていただけた御寛恕の賜であり、死線ならぬ五線を生きた身の遠慮せず、好きを通した我儘と思っております。最後に関高の益々の御発展をお祈りします。

(岐阜市学園町一ノ八四)

西山幹雄先生

(在任 昭和54年～57年)

海拔一、五一〇米の銀世界の中に閉じ込められていたと、関高を離れてまだ二年しかたっていないのに、もう私のことなど誰も覚えていてはくれないだろうと思つていただけに、同窓会からお便りいただいて大変嬉しく思いました。

今年はことのほか寒さがきびしく、乗鞍青年の家の周辺はいつも氷点下十数度で連日のように休むことなく雪が降り続いて

います。官舎から往復40キロの通勤が一苦勞で凍りついた急斜面で四輪スパイクの上にチェーンをはめたり、はずしたり。夜は官舎で、あまりの寒さに目がさめることもしばしば。そんな苦勞の中で、入れ替り、立替り、定員の四百名を越えてやってくる研修生のお世話をしています。雪が止んで晴れ上った時の神々しいまでに白銀に輝く槍

穂高、乗鞍、御岳、白山、など日本アルプスの代表的な山々の勇姿は何にも代え難いもので心が洗われる思いがします。

関高といえば、すっかり整備された立派な環境に較べて、煮え切らないタイプの多い生徒諸君に奮起を促そうと校内体育大会での開会式の挨拶で職員のスフトボールチームの優勝を約束し、先生方にハッパをかけ公約どおり春秋二連覇したことが夢のように思い出されます。開けば、その後、職員チームはあまりふるわないとか。それだけ生徒諸君が奮起して頑張っている証拠でしょう。喜ばしいことです。やがて春が来て、五月の新緑溢れる乗鞍高原へ関高一年生を迎える日が待ち遠しい今日この頃です。

(加茂郡川辺町中川辺)

恩師拝謁

五十八年十一月二十七日、関高校卒業生Oさんより電話あり、「私の娘が、いまNHKラジオで、全国青年の主張コンクール予選に出ています。聴いてください。」。高校時代に外国に留学し、国際親善をととして人類愛の尊さを体得した。いま大学の

よろこびも
かなしみも

奥田 清 先生

(S31年～36年
S43年～45年)

医学部で学んでいるが、将来医師として国際的な立場で、人々に尽したい。」という要旨で、誠実あふれる立派な主張であった。その声も、口調も、かつてのOさんそのままであり、二十年前のOさんが教室で話しているかと、錯覚に落ち入りながら聴き入った。

十二月十一日、関高校野球部

のかつての主将G君の結婚式。かつての野球部監督T君と、ノンプロで活躍した名選手H君とともに、K君の運転する車で、名古屋高砂殿へ。同級生多数が出席しているうえに、新婦の君も関高校卒業生、結婚式場は同窓会の感があり、とにかくめでたくよろこびにひたつた。

十二月十三日、Aさんを病院に見舞う。関高校卒業式に卒業証書を全校代表で受領した才媛で、結婚後も自宅へ訪ねてくれたりしていたが、健康で四人の子を生し、羨ましいほどの円満な家庭を築いていた。

病室に入ると「あれ、先生、誰が知らせたの。内緒にしていたのに。いま、点滴も止めたし非常に調子がよいときです。」とよく肥り、色つやのよい笑顔で語っていた。同行した愚妻と子どもを中心とした話題で、女どうしの語らいがつづいた。「来春には退院が可能です。」の言葉を疑わず辞去する。

十二月三十一日、Fさんより電話。「Aさんが今朝未明に永眠されました。」との訃報。天を憾み、地を恨む。

昭和五十九年一月二日、岐阜市野一色の寺院での告別式に参列。級友代表のKさんの弔辞。

58年度



部活動等状況

〈陸上部〉

〈IH県予選会〉男子やり投げ 三位 山田直人
〈IH東海予選会〉男子やり投げ 五位 山田直人
(全国大会出場)
〈県選手権〉男子やり投げ 三位 山田直人

〈県総体〉男子一六〇〇リレ一 三位 (鵜飼・青山・石木・石原)
〈東海選手権〉男子やり投げ 山田直人出場

こみあげる涙に耐えてひたすら安らかな永眠を祈る。O先生はじめ同窓生多数も参列される。誰ともあまり語らわず急ぎ帰宅。しばし号泣の後に、安酒を酔いつぶれるまで呷った。

「よろこびもかなしみも」わずか年末・年始の一月間に生じた。それもすべて関高校との縁によってである。私の人生にとって関高校との深い／＼つながりを感じずにいられない。(現在、東濃実業高等学校教頭 美濃加茂市在住)

男子一六〇〇リレ一

(青山・鵜飼・石木・石原) 出場

〈県秋季大会〉男子やり投げ 一位 石原孝史
〈県新人大会〉男子やり投げ二位 石原孝史
男子四〇〇リレ一 三位

〈県高校駅伝〉七位
〈水泳部〉
〈IH県予選会〉男子一五〇〇リ自由形 三位 森 一夫

女子四〇〇リ自由形 三位 安田英代
女子八〇〇リ自由形 三位 安田英代
女子四〇〇リレ一 三位 安田英代

三位(古田・福田・福井・安田)
〈県高校総体〉男子二〇〇リ個人メドレー 二位 森 一夫
男子四〇〇リ個人メドレー 三位 森 一夫
女子四〇〇リ・八〇〇リ自由形 三位 安田英代

三位(古田・福田・福井・安田)
〈県新人大会〉女子四〇〇リ自由形 三位 安田英代
女子八〇〇リ自由形 三位 安田英代

女子四〇〇リレ一

三位(大野・福井・福田・安田) 出場

〈県高校大会〉女子団体 二位
〈IH県予選大会〉男子団体 三位
男子個人 三位 足立隆二
女子団体 三位

女子個人 三位 洞口順子
女子個人 三位 永瀬 幸
〈東海高校総体〉男子団体 四位
女子団体 四位

〈庭球部〉
〈県新人大会〉女子個人 三位 庄司・深沢組
〈東海室内大会〉女子個人 庄司・深沢組
〈フラスバンド部〉中部日本吹奏楽コンクール 県予選会 準優勝

〈コーラス部〉NHK合唱コンクール 県予選会 優良校
岐阜県合唱コンクール 高校部門 銅賞
〈陸上部〉
〈IH県予選会〉男子一六〇〇リレ一 四位
(鵜飼・青山・石木・石原)
〈県新人大会〉男子八〇〇リ 五位 森雅文
男子五〇〇リ六位各務裕司